



九州大学育成ブドウ新品種「BK シードレス」の販売開始と高品質果実のブランド化

概要

九州大学大学院農学研究院の若菜章准教授らが育成したブドウ新品種「BK シードレス」の栽培実用化のため、九州大学の研究グループの指導のもと、2011年からブドウ生産者による現地試験栽培が進められてきました。2013年から、福岡県内の現地試験栽培協力農家が全国に先駆けて本格的な出荷を開始します。また、本年10月上旬からは、一定の品質基準をクリアした「BK シードレス」の高品質果実がブランド名「みつしずく」として福岡市内の百貨店で販売されます。

今後は、多くのブドウ生産者に「BK シードレス」の栽培技術を移転し、全国規模での物産化を支援します。

背景

九州大学の果樹研究グループは、ブドウにおける遺伝・育種的な研究を進める中で、優れた遺伝的性質をもつ品種「BK シードレス」を育成しました（[2011年9月13日プレスリリース参照](#)）。「BK シードレス」は、大変優れた食味の高糖度種子なしぶどうです。さらに、栽培に必要な労力が少なく、農薬を減らした栽培も可能であることから、生産者と消費者の両方に優しい品種といえます。

「BK シードレス」は遺伝的に優れた性質をもつ品種ですが、栽培実用化にはその特長を活かす栽培技術の開発と獲得が必要であったため、2010年に九州大学の研究グループとブドウ生産者等からなる「BK シードレス」栽培利用研究会を設立しました。2011年には福岡県内5地区（朝倉市、うきは市、久留米市、田川市、田川郡川崎町）のブドウ生産者に苗木を提供して現地試験栽培を開始し、2012年以後は福岡県外のブドウ生産者も参加して現地試験栽培が続けられています。「BK シードレス」栽培利用研究会では、研修会等で情報交換を行い、各栽培地に適した栽培技術の確立を進めています。

さらに同研究会では、「BK シードレス」の高品質果実を「みつしずく」という親しみやすい名称でブランド化することにより、高品質果実の生産促進と消費拡大を目指しています。

内容

全国各地の現地試験栽培圃場では「BK シードレス」が順調に生育しており、特に福岡県では、県内の協力農家が生産した果実の本格的な出荷が今年から始まり、生産地近隣の直売所、道の駅、スーパー等で販売されます。

(1) 2013年9月14日(土)には、うきは市の「道の駅うきは」において、うきは市主催の『うきは産「BK シードレス」お披露目会』が予定されており、うきは市の協力農家が生産した果実の試食・即売会が行われます。

(2) 「BK シードレス」の中でも高品位の果実「みつしずく」ブランドは、本年10月上旬から福岡市内の百貨店（博多阪急「博多さんか園」および岩田屋三越「南国フルーツ店」）にて限定販売されます。

効果

全国でも有数のブドウ生産地である福岡県での「BK シードレス」の現地試験栽培は、「BK シードレス」導入のモデルケースとして全国的にも注目されています。ブドウ生産者による現地試験栽培で得られた成果の検証および高品質果実のブランド化により、生産果実の品質向上および消費拡大が見込まれ、高品位で競争力のある日本の農業への貢献が期待されます。

今後の展開

2013年9月現在、12都府県で200本以上の「BK シードレス」が栽培されており、2014年からは福岡県以外の現地試験栽培地でも果実の出荷が始まり、全国各地の消費者に届く見込みです。2016年には苗木業者による苗木の販売開始が予定されていることから、全国的な栽培拡大が予想されます。さらなる栽培本格化により、海外販売展開も期待されます。

【お問い合わせ】

研究全般について

大学院農学研究院 助教 酒井かおり

電話:092-947-0182

FAX:092-947-0182

Mail:sakai@farm.kyushu-u.ac.jp

産学連携について

有体物管理センター 教授 深見克哉

電話:092-642-7317

FAX:092-642-7130

Mail:mmc@mmc.kyushu-u.ac.jp